

日本健康会議「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025(宣言2)」の達成状況

日本健康会議とは

少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体で、経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場、地域で具体的な対応策を実現していくことを目的に2015年7月に発足。

【第一期(2015年～2020年)】

平成27年7月に開催された「日本健康会議2015」において「健康なまち・職場づくり宣言2020」が採択された。

本宣言において保険者協議会の役割として、「予防・健康づくりに向けて47都道府県の保険者協議会すべてが、地域と職域が連携した予防に関する活動を実施すること(宣言3)」とされ、東京都保険者協議会においても本宣言を実行するための各種取組を推進した。

【第二期(2021年～2025年)】

令和3年10月に開催された「日本健康会議2021」において、第二期日本健康会議の活動指針として、「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」が採択された。(宣言内容については、別添①参照)

「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」について

令和5年10月4日に開催された「日本健康会議2023」における「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」の達成状況の公表に向けて、厚生労働省より取組状況の調査があり、別添②のとおり回答した。

なお、「日本健康会議2023」においては別添③のとおり達成状況が公表されている。